

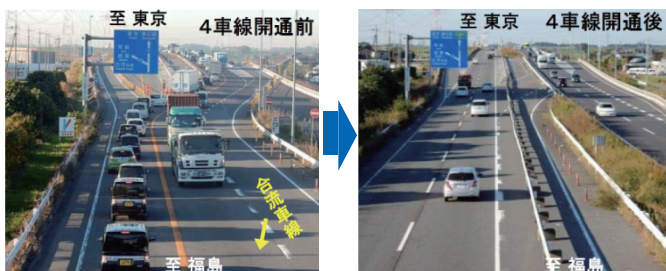
県西地域の工場立地が進展

— 新4号国道春日部古河バイパスの4車線化 —

新4号国道春日部古河バイパスの4車線化や圏央道の開通により、交通渋滞緩和や、さらなる新規工場の立地による地域振興等が期待されます。

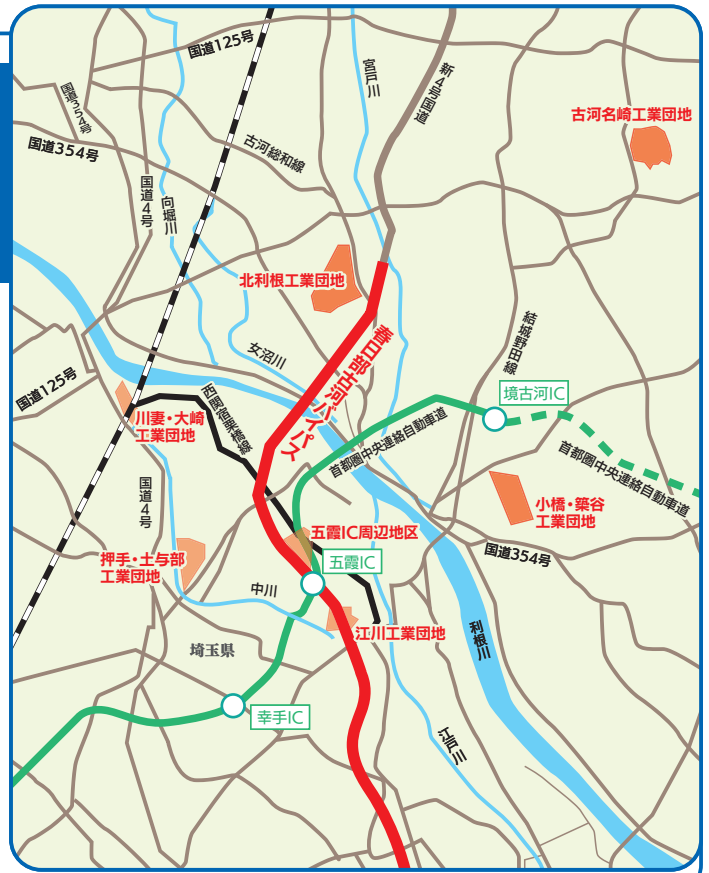
- 4車線化による渋滞緩和や圏央道との連絡強化、物流機能の向上が期待されます。
- 大型車交通がバイパスへ転換し、生活道路の安全性が向上します。
- 沿線への物流施設や工場の立地等による民需拡大が期待されます。

混雑状況の変化(塚崎交差点)



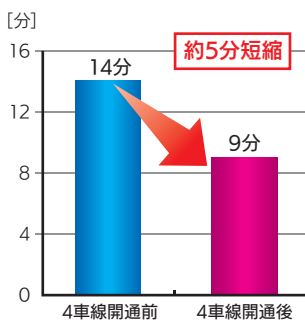
平成26年11月19日(水)7時台撮影

平成27年10月7日(水)7時台撮影



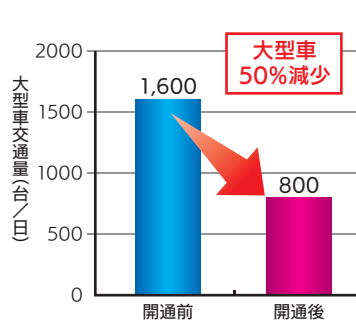
生活環境の向上と地域経済の活性化に寄与

物流機能の向上
北利根工業団地→五霞IC

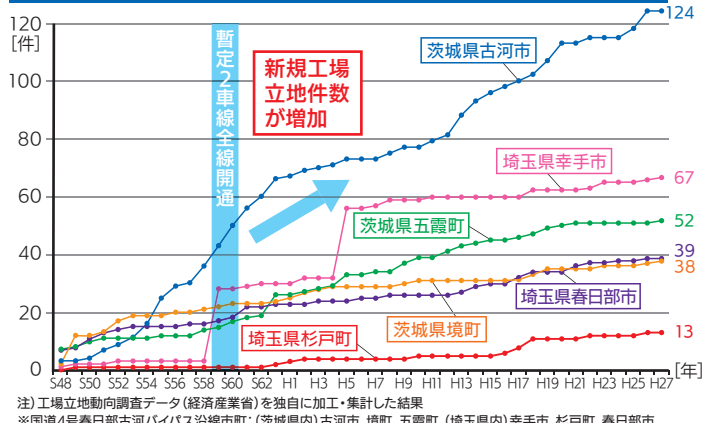


資料:民間プローブデータ
4車線開通前:平成26年7月・平日12時間平均
4車線開通後:平成27年7月・平日12時間平均

交通安全の向上
県道西関宿栗橋線(大型車交通量)



工場立地の促進 新規工場立地件数の推移(昭和48年以降)



2017年初から生産が本格化する日野自動車古河工場=古河市名崎

日野自動車総務部 主管 細谷 賢一氏

2017年初から生産が本格化する日野自動車古河工場は、圏央道境古河ICまで10分程度でアクセスでき、北関東自動車道に近い。そして、古河市や結城市を通る大動脈道「6車線道路新4号国道」と「現在暫定4車線新4号春日部古河バイパス」のアクセスもしやすい立地です。当社の工場間物流や、サプライヤー様からの部品物流、トラックの荷台部分を作っている、全国の架装メーカーへの車両輸送時間や物流コストの面で効率化が図れるケースもあるでしょう。また、従業員の定住化を図りたい。そのために地元自治体が新築住宅助成や道路敷設、子育て支援などハード・ソフト両面での環境整備を進めてくれています。

2017年から生産本格化
アクセス道に期待